



開幕直前!
がんばれ、チームいばらき

競技・注目選手のご紹介

正式競技

全国障害者スポーツ大会競技規則に定められた個人競技(6競技)と団体競技(7競技)があり、団体競技は都道府県・指定都市対抗で行われます。



- 身 =身体障害者が出場できる競技
- 知 =知的障害者が出場できる競技
- 精 =精神障害者が出場できる競技



ボウリング

【会場地:取手市】 10/12(土)~13(日)

家族と共に勝利を

もりすえ けいいち
森末 圭一さん



高校生の時に本格的にボウリングを始めて以来、時間を見つけては、ボウリングの練習に励んでいる。「投げるのがとにかく楽しい。」という森末選手は、多い時は、1日に40ゲームを投げこむ。最高スコアの300を出したこともあります、茨城代表に3度選出され、活躍してきた。「レーンが慣れないということもあり、思うように力を発揮できなかった。」と福井大会を振り返る。気持ちが乗ってこないと安定せず、200を

切ってしまうのが課題だという。大会では、家族やコーチに一投ごとに喜怒哀楽を素直に表現する。連續ストライクが出ている時のガッツポーズや気合は力強い。茨城大会は、フジ取手ボウルが会場となる。「取手のレーンで練習を重ねることで、レーンの癖を見極め、1ゲームでも良くしていきたい。」と話す。鹿嶋から取手まで送り迎えする家族の協力も不可欠だ。家族一丸となり、勝利を目指す。

サッカー

【会場地:ひたちなか市】 10/12(土)~14(月・祝)

渡辺さんは、サッカーも仕事も、まず自分が楽しむことを意識しているという。中学生から30代まで幅広い年齢の選手で構成される茨城チームのキャプテンとして、コミュニケーションを怠らない。特に後輩には、サッカー以外の話をしながら、仲の良いチーム作りを目指す。週に一度の貴重な練習では、熱がこもり檄も飛び交い、真剣そのもの。うまくなりたい、勝ちたいという気持ちがプレーに溢れている。渡辺選手は、チームメイトに駆け寄り、アドバイスをする中心的存在だ。課題は、個人の能力が高いが、生かしきれていないこと。もっと団結力を高めそれぞれが力を発揮できるようにすること。地元鹿島アントラーズの選手のガッツ溢れるプレーにあこがれ、小2から少年団でサッカーを始めた。ディフェンスの要として、失点0のゲームができると嬉しい。過去、東京大会でメンバーに入り、準優勝に輝いた経験を持つ。「地元開催の茨城大会では、たくさんのお客さんが観に来るから全力で優勝を目指す。」



まず自分が楽しむこと
わたなべ ひろき
渡辺 大輝さん

